

平成31年度 事業計画

自 平成31年 4月 1日

至 平成32年 3月31日

I 基本方針

我が国の65歳以上の高齢者人口は、2012年に3,000万人を超え、総人口に占める割合も25%を越えております。さらに2025年には3,657万人となり、約30%が高齢者となることが予測されるなど、本格的な「高齢社会」を迎えております。

また、人口の減少に伴う労働力の低下も懸念されており、企業等における高齢者の継続雇用が拡大するとともに、卓越した知識や経験、技能、技術の活用が一層必要とされております。こうした社会情勢において、シルバー人材センターの重要性がこれまで以上に高まってくると思われれます。

そうした中、加須市シルバー人材センター（以下「センター」という）は、平成24年4月には公益社団法人の認可を得て新たにスタートし、現在に至っております。

今日までの間、加須市をはじめ公益財団法人 いきいき埼玉 埼玉県シルバー人材センター連合など関係機関や市内の事業所並びに地域の皆様方より多大のご支援、ご協力をいただき参りました。今後もさらなる信頼関係を強めるとともに、公共や民間事業所からの受託の推進、更に一般市民からの業務の拡大を図り、シルバー人材センター事業の基本理念である「自主・自立、共働・共助」を活かして、センター自らの力で新しい仕事や社会活動の取組みを実践していきます。また、これまで以上にコンプライアンス（法令遵守）を最優先に事業を進め、特に平成28年に策定しました中・長期計画の着実な事業の推進を図り、地域に密着した心のこもった仕事で社会に貢献し、魅力あるセンターの確立を目指し、次の施策を積極的に推進して参ります。

II 事業計画

1. 中・長期計画並びに施設整備事業計画の推進

中・長期計画は4年目であり、施策を継続的かつ着実に推進していかなければなりません。また、施設整備事業計画は平成30年度に調整を行っており、最終年度の平成33年度に向け、計画的に推進して参ります。

2. いきいきと元気で働く仲間づくり（会員の増強）

(1) 新規事業の展開による、会員活躍の場の拡充

新規事業を展開し、会員の就労の場を広げると共に新会員の掘り起こしを行います。また、一昨年からは始まった健康づくりサポーター養成講座・フレイル予防教室も継続して行い、会員の増強を図ります。

(2) 会員の育成

会員の安全と技能アップのために研修会を実施し、専門的な技術を身につけた会員の増加を目指します。また、会員による技術の伝達を行うことにより、後継者の育成を図ります。

(3) 普及啓発活動

年間を通じて毎月4会場での入会説明会に加え地域のイベントや各種団体や施設に出向きセンターのPRをいたします。また、「シルバーだより」の年2回発行や定期的な「会員通信」発行など普及啓発に努めます。

3. 市民生活に深く根ざした仕事づくり (地域社会の活性化)

(1) 新規事業の展開

- ① 加須市や商工会等と共同し高齢者の新たな就業機会を創造する事業(地域就業機会創出・拡大事業)として、空家・空地管理事業が国の補助事業として採択され、一定の成果を上げてきました。国の補助事業としては平成30年度に最終年度を迎えましたが、これまで同様、市や商工会等と共同し、就業の拡大を図って参ります。
- ② 施設整備事業計画に位置付けされたシルバーサロンの完成を受け、フレイル予防教室等の活動を更に展開していきます。
- ③ 加須市と連携し、高齢者等が地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援するための介護予防・日常生活支援総合事業として、地域で活躍する人材の育成をし、就業につなげます。(加須市元気あっぷ訪問サービスB従事者研修、認知症サポーター養成講座等を実施)

(2) 派遣事業の推進

会員の希望する仕事と企業からの仕事のマッチングが難しい状況ではあるが、工夫をし、高齢者の雇用機会の拡大を目的に、派遣事業を推進します。(高齢者活用・現役世代雇用サポート事業)

- ・派遣コーディネーター2名の配置
- ・就業延人員目標2,600人日

4. 安全・健康、笑顔で働く職場づくり (生きがい就労の追及)

(1) 安全意識の徹底

安全管理委員会の充実を図り、毎月各地域の就業場所のパトロールや安全就業講習等を計画的に実施し傷害事故並びに賠償事故件数「ゼロ」を目指します。また、屋外での機械作業では、就業の効率化より安全対策を最優先に進めます。

(2) 適正就業の促進

「請負就業」「派遣就業」それぞれ適正な就業の促進に努めます。また、ローテーション就業を引き続き推進します。

(3) 健康管理の促進

会員状況調査票を毎年提出してもらい、直近の健康状態を把握し、また市で実施している特定健康診査の受診を促します。

また、公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団と連携し、会員の介護予防効果を実証するため、一定期間(3年)追跡調査を始めます。

(4) 生きがい支援

互助会を設立し福利厚生の上をを図ります。また、会員のサークル活動を支援し、会員の相互理解と親睦交流を図ります。

5. 取り組みを支える基盤づくり (運営基盤の強化)

(1) 施設整備事業計画の推進

施設整備は、センター事業を支えるものでありまた会員の基盤(財産)であることから加須市のご理解を得ながら着実に推進いたします。

- ・外構工事

(2) 組織体制の整備

- ① 設置した部会及び委員会の推進を図ると共に、理事及び会員が中心となって運営するセンターづくりの意識を高めて参ります。
- ② 特別会員制度及び互助会設立を会員に周知し、退会者減少を図ります。

(3) 財政基盤の強化

事業内容及び経常経費の見直しを図ります。